

特別支援学級を対象としたキャリア教育の充実について

報告内容

特別支援学級を対象としたさらなるキャリア教育の充実のため、新たに2つの施策を実施することを報告します。

1 東京アビリンピック（東京障害者技能競技大会）見学会の実施

（1）目的

特別支援学級に在籍する生徒が、将来の就労へのイメージを育むことを目的とします。

（2）対象

区立小・中学校特別支援学級に在籍する小学校5年生～中学校3年生の児童・生徒及びその保護者（希望者）

（3）概要

- ・障害のある方々が日々培った技能をお互いに競い合うことを通じて、職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々が障害者に対する理解を深め、その雇用の促進を図ることを目的として毎年開催される「東京アビリンピック（東京障害者技能競技大会）」を見学します。
- ・第24回大会の開催日は、令和8年2月14日（土）です。
- ・教育委員会がバスを配車し、会場である東京障害者就業能力開発校（小平市）まで引率します。
- ・教育委員会事務局がチラシを作成し、希望者を募ります（先着20組40名）。

2 特別支援学級設置中学校への地域部活動「技能部」の新設

（1）目的

中学校段階から、就労を見据えた技能習得の機会を提供し、将来の自立・社会参加につなげることを目的とします。

（2）対象

区立中学校特別支援学級に在籍する生徒（希望者）

(3) 概要

- ・青山中学校を拠点とし、令和8年度から実施します。(交通の利便性があること、活動する部屋が充実していること)
- ・清掃、パソコン操作・データ入力、フラワーアレンジメント、喫茶サービス、ネイル施術など、生徒の興味や特性に応じた活動を月2回程度実施します。
- ・外部講師を招聘するとともに、区貸与のGPSで安全を確保します。